



社長
光廣 昌史

座右の銘はありますか。

座右の銘ではないが、今年は特に企業の後継者支援に力を入れた。次代に係る後継者の方が見出せない中小企業が多くあるという現状から、どういふ状況が招来しても後継者としての役割が担えるよう対策をとっておくのは大切。

中小企業は後継者教育を行う余裕はなく、ただ社長について仕事をしているケースが殆んど。当社では本当の事業継承とはテーマに研修を行い。年に10回の研修を予定している。従来型の座学や講習を行うのではなく、参加者が議論し、いいものをつくり上げようと模擬体験などを通して能力アップを図っていくもの。

今は企業はただ儲けさえすればよいという時代ではない。それだけでは尊敬されないうし、本当の満足感も得られない。九州の宅配の弁当屋が、注文を受けることにお米をカンボジアに寄付している。企業も社会を構成する一員という考え。

人との出会いについて。
人との出会いは何かのきっかけで始まる。その時その時の縁を大切にしたい。

ライフワークとしていること。
税理士として「税」から離れられない。毎年のように税制度が変り、それに対応していくのは大変だが、その分やり甲斐を感じる。政権が変わり制度の手直しが行われるようだが、参院選挙対策のためだけでなく、本当に中小企業にとってどうなのか注視していきたい。
人生におけるターニングポイント。
20歳代半ばで税理士の資格を取得した後、東京でいろんな勉強や経験をさせてもらい、これが別途会社の設立にもつながった。自分で考え行動することにより責任の在り様を学ばせてもらった。

健康に気をつけていること。
血圧が高めなので気をつけるようにしている。体を動かすことと、体重を減らすことを心掛けているのだが、5kgぐらい減らしたい。

余暇の過ごし方。
仕事人間なので、休日はずっとくりするようになっている。楽しみはおいしいものを食べることに。先に企業の社会貢献のことに触れたが、企業人であると同時によき家庭人でありたい。